

事業所名

ハート愛

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

20日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人正和会は、御利用者様が必要とする支援と心のこもったおもてなしを提供することを、最も大切な使命と心得ています。 ・私たちは、福祉サービス業として御利用者様とその御家族に正しい情報を伝え、最高のパーソナルサービスを提供することをお約束します。 ・社会福祉法人正和会で御利用者様が経験されるもの、それは満ち足りた幸福感、そして御利用者様が言葉にされないニーズをも先読みしてお応えするサービスの心です。 							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの成功体験を積み、自尊感情を育てることを大切にしています。 ・児童一人一人の個性や特性を生かした支援をします。 							
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし		
支援内容（ねらい及び活動内容例で表示）									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の特性に応じて環境を構造化したり、自らの生活のマネジメントができるような活動を準備する。（「各月活動計画作り」、「カレンダー作り」等） ・日常生活から課題場面を取り上げ、望ましい生活習慣や生活リズムの形成を図る。（「こんなときどうする？」等） ・健康・安全に係る意識向上及び日常の生活場面での行動力の定着を図る。（「安全マン」、「避難訓練」、「お助けマン」、「クッキング」、「レトルトキャンプキャンプ」等） 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・発達特性として、自分の身体の動きをしっかりと把握し（ボディイメージ）、感覚・運動レベルの分化・統合が未熟なケースがある。様々な活動で多面的にアプローチすることで、成長を促す。（「いろいろアスロン」、「ダンス」、「リトミック」、「ボール遊び」、「風船バレー」、「鉄人を目指せ」、羽子板ゲーム等） ・視覚、聴覚、前庭覚、固有覚、嗅覚等、保有する感覚を活性化させ、環境に対応できるよう経験を広げる。（「スライム」、「粘土」、「フロッタージュ」、「さんぼ」等） 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・こだわりや偏食等、児童の認知の特性から来る課題への解決・改善を図る。（「クッキング」、「レトルトキャンプ」、「こんなときどうする」等） ・環境を適切に認識して、対象物の弁別・統合及び概念の形成を図り、適切に行動できるようにする。（「マッチング」、「とけい」、「避難訓練」、「お助けマン」、「ゲームセンター」、「ジャガイモの収穫・販売」） ・コミュニケーション等の滞りから来る相互障害状況に関しては、活動というより事業所での全生活を通して、環境の構造化、INREAL的応答等により、自尊感情を尊重して対応する。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・音声言語、文字言語だけでなく、表情の読み取りや表出、相手との折り合いの付け方等、日々の生活の中で、人と関わる楽しさを味わいながら、コミュニケーション力を付けるようにする。活動も、多様な成功体験を味わえる場を準備することで、様々な表現力を身につけるようにする。（「読み聞かせ」、「お店屋さんごっこ」、「カラオケ」、「誕生会」、「リトミック」、「こんなときどうする？」、「夏祭り（準備・本番）」、「お助けマン」、「何が通ったでしょう」、「夏休みを振り返ろう」等） 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって「心のよりどころ」となるような日々の支援に努める。そのため、安心を得る環境、言葉掛け等細心の注意を払う。 ・児童は遊びの中でこそ、自らの能力を総動員して行動する。感覚・運動期にある児童から思春期の児童まで、協同遊び的で、共に楽しめるような活動の機会をふんだんに準備することで、社会性の伸張を図る。（「夏祭り準備」、「BoonBoonFesta練習」、「的当て」、「ゲームセンター」、「ダンス」、「ミステリー活動」等） 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・御家族への日常的支援を実施する。相談内容によって、専門機関等の助言等が必要な場合は、しっかりとつなぐようにする。 ・「保護者の集い」や「保護者・職員合同研修会」を企画し、講師招聘等で支援の専門性の向上を図る。 ・「兄弟支援」についてもニーズがあると思われる。事業所主導で進めていく。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や幼稚園、児童発達支援事業所からの新入生に関する移行支援シート（「すこやか夢ファイル」含む）、福祉就労等に進む高等部卒業生の移行支援シート等、正確な情報を集めて児童に適切な支援がなされるようにする。 ・児童を取り巻く地域の人々との交流の機会を増やし、地域とつながりながら日常生活を送ることができるようにする。（ふれあいスポーツランド、地区老人会等） 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の開発により、当事業所の事業の充実を図るとともに、様々な行事に参加していただくことで、地域住民の児童への障害理解を促し、地域全体を合理的配慮の地区にする。 ・地域の「コミュニティ協議会」や「校区社会福祉協議会」などともつなげるよう準備する。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所計画による毎月の事業所内研修 ・当事業所計画により講師招聘による「保護者職員合同研修」 ・当法人計画による「職員研修」 ・外部団体等主催による諸研修 ・日常の支援場面等におけるOJT ・毎年自主的に行う公開療育 		
主な行事等		「BoonBoonFesta」（県知的障害者福祉協会）、「秋祭り」（社会福祉法人正和会）、「七夕祭り」「夏祭り」「ハロウィンフェスタ」「餅つき」等（当事業所自主行事）等、行事によって児童の成長が見られることが多い。活動に効果的に組み込むことで、発達支援を図りたい。							